

本時の目標	けがの悪化を防ぐ対処の仕方や簡単な手当の仕方を理解し、自分の生活に生かそうとすることができる。	
学習活動		教師の支援と評価 (◎)
<p>1 問いを確認する。</p> <p>問い けがの悪化を防ぐにはどうすればよいのだろうか？</p> <p>けがをほうっておくとどうなるのかな。正しい手当の仕方やその根拠を知り、自分の生活に生かそう。</p> <p>2 調べたことを発表し、実習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べてまとめたこと（正しい手当の仕方・科学的根拠）について、班ごとにプレゼンテーションをし、実習する。 <p>悪化を防ぐ対処の仕方 ・ 手当のポイント（傷口を清潔にする，圧迫して止血する，患部を冷やす）</p> <p>正しい手当の仕方は分かったね。実際にけがをしてしまったら自分はどうするか，考えてみよう。</p> <p>3 けがをしてしまったらどうすればよいかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に起こりそうな事例について，グループで話し合う。 <p>〈公園の池に落ちて切り傷を負った例〉</p> <p>細菌に感染するかもしれないから，早く水で洗い流そう。マスカットの公園は，池の近くにトイレがあるぞ。そこなら水道があるからすぐ洗いに行こう。その後は，ガーゼのかわりにタオルでしばっておこう。</p> <p>〈運動場の鉄棒で頭を強く打った例〉</p> <p>保健室に連れて行ってあげよう。でも，頭を強く打ったときは，できるだけ動かさない方がよかったな。すぐに近くの先生に連絡しないといけないな。</p> <p>まずはけがの程度を判断する必要がある。学んだことを使って自分でやることをしよう。度が判断ね。学んだことを使って自分でやることをしよう。度が判断ね。</p> <p>4 まとめをする。</p> <p>5 振り返りをする。</p>	<p>今まで何気なくしていたんだ。自分で手当ができた時に，清潔にする，圧迫し，患部を冷やすなどして，速やかに手当をすることが大切なんだね。</p> <p>している軽傷口を清て止血することが</p>	<p>◎ 前時の学習を振り返り，本時の問いを確認することで，見通しをもって活動することができるようにする。</p> <p>◎ 一人一人の役割を明確にして小グループ内でプレゼンテーションをすることで，けがの悪化を防ぐための知識を共有しやすくする。</p> <p>◎ プレゼンテーションを聞く際には，ワークシートを用意しておくことで，分かったことを整理して，けがに応じた手当の仕方を理解することができるようにする。</p> <p>◎ けがの手当を実習する際には，応急手当のための用具や用品を実際に使用することで，学んだことを生かして，より適切な手当の仕方を身に付けることができるようにする。</p> <p>◎ 教科書を用いることで，得た知識を整理し，理解を深めることができるようにする。</p> <p>◎ けがの悪化を防ぐ対処の仕方や簡単な手当の仕方を理解し，実践することができる。 (知識及び技能)</p> <p>◎ 実際に起こりそうな事例を取り上げ，グループでよりよい対処の方法を考えていくことで，学んだことをより自分のこととして捉え，生活に生かそうとすることができるようにする。</p> <p>◎ 話し合いが停滞しているグループには，対処や手当の仕方のポイントを示し，話し合う内容を明確にして考えやすくすることができるようにする。</p> <p>◎ けがの悪化の防止について考えたことを，自分の生活に生かそうとしている。 (学びに向かう力，人間性等)</p> <p>◎ 自分の生活を想定して振り返りをするよう助言することで，自分の生活に合った生かし方を考え，行動変容につなぐことができるようにする。</p>